

校歌

作詞 吉成 新太郎
校閲 文博 芳賀 矢一
作曲 渡邊 貞雄

一、馬陵の城の

春の若駒
克己の鞭は
進取の足掻
同窓九百の

名に負へる

勇ましく

風を切り

雲を呼ぶ

健男児

四、忠魂義胆の

ほことそばたつ
峰の岩の根
流れも澄める
義人の気概

あととめて

不忘の

湧き出でて

宇多の水

ここに汲め

二、奮闘努力の

無限永劫
割れて碎けて
原釜の磯
男児の意気を

声をあげ

極みなく

裂けて散る

寄する浪

ここに見よ

五、

蝴蝶の夢や
春去り春は
勤儉至誠
匂ふ愛宕の
偉人の姿

幾かへり

うつろへど

永久に

山桜

茲に見よ

三、月の桂の

天真の楽
激漉の玉
松川浦の
君子の風度

夜さえて

風奏で

波踊る

秋の色

ここに見よ

六、

仰げば理想の
俯せば学びの
天籟地籟
正気の剣
立てや九百の

峯高く

海深し

凝りなせる

身に佩きて

健男児